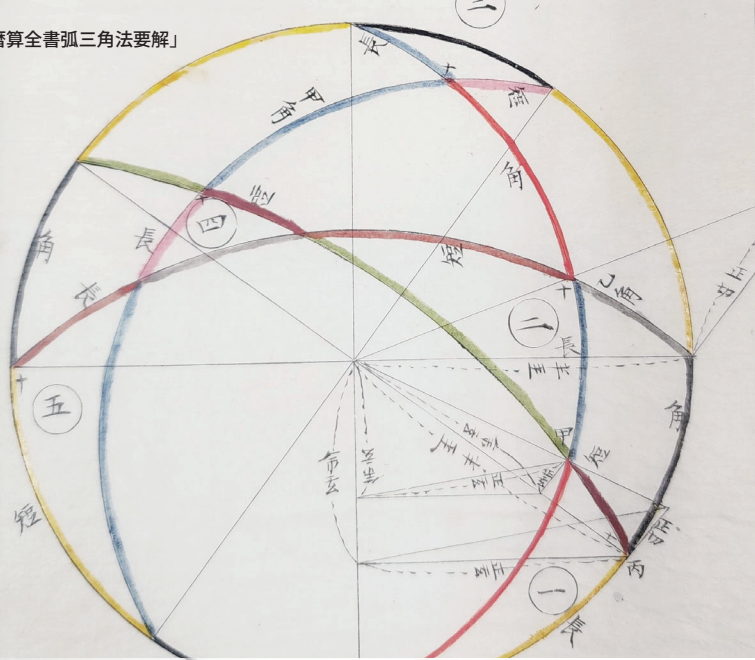


「暦算全書弧三角法要解」



「関流算法相場割」



第234回 歴史館ゼミナール

江戸時代の数学

そろばんから大砲まで

日時： 令和6年 **7月6日** (土)

13時30分～15時 (開場13時／聴講無料・当日受付)

会場： 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 外御書院

講師： **佐藤 賢一** 先生
(電気通信大学教授)

【講師略歴】

1968年生まれ／博士(学術)／2000年より電気通信大学講師／
2019年より電気通信大学教授／専門分野：近世日本数学史／
著書：『近世日本数学史』(2005年)・『関孝和全集』(共編、2023年)他

江戸時代の初期から日本国内に普及したそろばんについて、その意義とそこから高度な数学(和算)が展開した経緯を紹介します。

有名な関孝和の数学もここから登場します。この和算の展開は、幕末の佐賀にも影響を与えます。和算の様々な応用分野の一つとして砲術があり、関孝和以来の和算の数式が用いられました。また、金武良哲など和算に造詣の深い佐賀藩士も活躍しました。

欧米の度量衡の換算や大砲の弾道計算などを和算の数式に翻訳できれば、在来の数学を知る多数の人たちと情報共有は簡単にできたのです。

 佐賀県立 **佐賀城本丸歴史館**
SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM

〒840-0041 佐賀市城内二丁目18-1
TEL: 0952-41-7550 FAX: 0952-28-0220



佐賀らしいやさしさで
みなさんをお迎えます。
ゼミナール開催にあたり、事前に確認
したいこと、配慮が必要な事項があれ
ば、お気軽にお問い合わせください。



身障者等
駐車場あり



車イス対応
トイレあり



授乳室
あり

佐賀城本丸歴史館 検索

 **佐賀県**

© 2024 Saga Prefecture.